



2025年7月9日

各位

会社名 株式会社ラクト・ジャパン
代表者 代表取締役社長 小島 新
(コード：3139 東証プライム市場)
問合せ先 IR広報部長 石黒 裕子
(TEL. 03-6281-9752)

2025年11月期中間連結会計期間の業績予想および通期連結業績予想の修正
ならびに期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年1月14日に公表しました2025年11月期中間連結会計期間の業績予想および通期連結業績予想ならびに期末配当予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年11月期の連結業績予想の修正について
(1) 2025年11月期中間連結会計期間 業績予想の修正
(2024年12月1日～2025年5月31日)

	売上高 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に 帰属する 中間純利益 百万円	1株当たり 中間純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	86,000	2,300	1,700	170.71
今回修正予想 (B)	95,290	3,830	2,790	280.06
増減額 (B - A)	9,290	1,530	1,090	
増減率	10.8%	66.5%	64.1%	
(ご参考) 前期実績 (2024年11月期 中間連結会計期間)	84,560	2,260	1,654	165.97

(2) 2025年11月期通期連結業績予想の修正

(2024年12月1日～2025年11月30日)

	売上高 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に 帰属する 当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	180,000	4,600	3,300	331.38
今回修正予想 (B)	188,000	6,000	4,350	436.47
増減額 (B - A)	8,000	1,400	1,050	
増減率	4.4%	30.4%	31.8%	
(ご参考) 前期実績 (2024年11月期)	170,907	4,320	3,146	315.83

(3) 修正の理由

2025年11月期中間連結会計期間の業績につきましては、アジア事業のチーズ製造販売部門の販売数量は価格改定の影響等により期初計画をやや下回ったものの、それ以外の部門の販売数量は期初計画を上回り好調に推移しました。さらに、原料相場高や円安により販売単価が高値で推移したことから、売上高は期初計画を上回る見込みです。

また、利益につきましては、上記の増収効果に加え国内事業の乳原料・チーズ部門およびアジア事業のチーズ製造販売部門の利益率が想定より改善したこと、さらに、前期2024年11月期において発生した一部商品の品質不良に関わる受取補償金650百万円を当中間連結会計期間に営業外収益として計上する予定であることから、経常利益ならびに親会社株主に帰属する中間純利益についても期初計画を大幅に上回る見込みです。

通期の連結業績予想につきましては、世界的な景気の下振れリスクや、国内における乳価値上げならびに食品価格の上昇による消費減退懸念など、当社を取り巻く事業環境は厳しさを増す状況にありますが、上期の業績進捗および足元の受注動向等を勘案し、上記のとおり上方修正いたします。

2. 期末配当予想の修正について

(1) 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭
前回発表予想	50.00	50.00	100.00
今回修正予想	50.00	82.00	132.00
(ご参考) 前期実績 (2024年11月期)	31.00	49.00	80.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆さまに対する適切な利益還元を重要な経営課題のひとつと位置付けております。剰余金の配当につきましては、将来の成長に向けた事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当性向の向上に取り組むことを基本方針としております。

上記方針および連結業績予想の修正を踏まえて総合的に勘案した結果、2025年11月期の中間配当につきましては前回公表の配当予想のとおり1株当たり50円00銭とし、期末配当につきましては公表済みの配当予想から32円00銭増配し、1株当たり82円00銭といたします。

この結果、当期の年間配当予想は1株当たり132円00銭となります。

*上記の業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上